



秋の花

光受寺通信

H.28年10月1日 発行
 発行者 光受寺
<http://koujyuj.com/>

健康寿命。最近よく耳にする言葉です。健康の問題がない状態で日常生活が送れるという年月ということらしいですが、平均寿命と健康寿命の間には男性では9年、女性で13年の差があるそうです。したがって健康寿命を延ばすということは、いわゆる死ぬ間際まで健康でいて、最期はコロッと死ぬということなのでしょう。周りに迷惑をかけないで最期は、と強く思っている人にとっては、まさに**理想の最期**と言えるのかもしれませんが。

さて日本は世界でも有数の長寿国となりました。生活環境が整い医学の向上や食べ物が豊かになり年々平均寿命も延びてきているようですが、「健康寿命」も延びていくのかは疑問の残るところです。たとえ延びたとしても、平均10年ほどは大なり小なり人に迷惑をかけずには生きなければならぬのではないかと思います。

多くの老人は「**周りに迷惑はかけたくない**」この一心が強くはたらくあまり、健康寿命がまるで**人生の目的**のようになっているようにも思えます。もしそのことが目的であるとするならば、平均寿命を生き現健康である人ならば、たった今この世を去っても何の悔いも残らないこととなります。しかし、なかなかそんな思いにはなれないのが人間です。きっと「死ぬ時にはコロッと」と、自分勝手に都合の良いことを思い描いておられるのでしょうか。

仏法はそんな思いでしか生きられない人間を憐れみ、「いつまで生きても良い、いつ死んでも良い」そんな思いにまで導いてくださるはずで、人はそもそも迷惑をかけてしか生きられないものなのでから「**お互い様**」の**思いを育てていく環境を育むこと**こそ大切なことではないでしょうか。

お彼岸を前に有志の方々によってお磨きがされました。

例年はこの時期には、特別にお願いすることはありませんが、ご門さん方、自らの思いがよんで、九月十六日の金曜日にお磨きを行っていただきました。

住職も、若院も、一緒に磨きをさせていただきました。

心触れ合う楽しいひと時を過ごさせていただきました。

この永代経には皆さんの御心が荘厳されることになり、ありがとうございます。

また、報恩講前には皆さんの協力をよろしくお願いいたします。



真宗の教えを聞かせていただくこと



浄土真宗の教えを聞かせていただくということは、**人間の真実の姿、本当の拠り所が人間自身の中には見つからないということ**を知らせていただくことであると、浄土真宗本願寺派の元ご門主であった大谷光真師は、願いに応える人生において述べられています。

私たちは人間の知恵と努力を拠り所として、幸せになるために生きてきました。が、現実社会を見れば結果は明らかです。科学技術発展は経済的な豊かさや引き換えに、人間の命さえも奪っていきます。これが私たちの求めてきたまぎれもない事実なのです。

今こそ私たちは、本当に何を心の拠り所として生きていけばよいのかを、**仏法にたずねていく時ではないでしょうか。**

知性や己の意志だけでは、ほんとうに幸せな人生はやっていけないということ、はつきり知らされていくことの大事さを思うのです。

今の私の拠り所は何なのか、はつきりさせるための歩みを、共に、また今、始める時だと思っております。

光受寺 秋季永代経 勤まる。 9月22日(秋分の日)

落語家 笑福亭 智丸 さんを招いてー住職ブログより抜粋ー



9月22日(秋分の日)。台風16号の接近が心配されていましたが、意外に早く通り過ぎていったようで、この日は雨模様ではあったものの穏やかな一日となりました。午前は住職の法話、午後は落語家の笑福亭智丸さんの落語を楽しんでいただきました。



彼とのご縁はこの春の「光受寺しだれ梅観梅」開催時のことでした。平成25年に笑福亭仁智師に入門し、今年4月に年季が明けたばかりの上方落語界の屈指の有望株だと言われているそうです。

終始にこやかに、一所懸命。好感度抜群でした。

2016年10月26日(水)には大阪「伝楽亭」において『伝新有楽』と題された特別講演を行うとのことです。

(18時半開場。19時開演。木戸銭・当日のみ1,500円)

小話から落語、そして南京玉すだれまで、多彩で見事な芸を披露してくれました。終始笑いの絶えない想像をはるかに超えた彼の話芸には感服いたしました。若くてもきっちりと落語家としての資質が備わっているなど、素人ながらに生意気にも感じられたことです。「さあ～、さあ～さあ～…さては南京玉すだれ」軽やかな声が堂内に響いていました。



新作落語ネタおろしに挑戦の実験落語会のポスター

この日は墨俣には春風亭昇太さんが一夜城築城450年での講演があったことから、またお天気も雨模様であったことから参詣者が少なくなってしまうのではと心配されましたが、予想以上に多くの方に来ていただくことができました。

良かったわ！ の一言が、とてもうれしかったです。



ほぼ満堂であった本堂

何よりも大満足を与えてくれた智丸さんに感謝です。彼はこれからきっと大きく成長するのですが、鈍行列車で大阪からやってきてくれた謙虚さを忘れないように、芸を磨いていってほしいと思いました。機会があれば、またいつか来ていただけたらと思っています。

また鈍行列車で来てくれるのかな～。
きっと新幹線になっているだろうな～。



南京玉すだれ芸

ご連絡

11月12日(土) おあさじ 7時半
学習会 19時
お勤め・法話等

新聞原稿 募集中！

今年、住職30年目を迎えました。

皆様に支えられて、すでに三十年がたってしまいました。「一人の念仏者を生み出す」ことを念願に、御同朋御同行の心を大切にしながら、様々に取り組んできた年月でした。「念仏に生きる」わが身に成れることを願って、これからも皆さんとともに歩んでいきたいと思っています。 合掌